



特別展

里山いま昔

－人と自然 あらたな“絆”を求めて－

2014.9.12(金)～11.16(日)

★主催／岐阜県博物館、中日新聞社

★後援／NHK岐阜放送局

★協力／公益財団法人 日本自然保護協会

★入館料／一般600(520)円 大学生300(200)円 *高校生以下無料
()内は20名以上の団体料金

★開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)～10月31日(金)
9:30～16:30(入館は16:00まで) 11月 1日(土)～
※ただし9月12日(金)は10:30開場

★休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)

GIFU PREFECTURAL MUSEUM
岐阜県博物館

〒501-3941 岐阜県関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)
TEL 0575-28-3111 FAX 0575-28-3110
URL <http://www.gifu-kenpaku.jp>



①オオカミの頭骨(山梨県立博物館蔵)

②武儀郡小屋名村絵図(岐阜大学教育学部郷土博物館蔵)

③松茸出荷シール(個人蔵)

④可児市帷子植林風景(可児市蔵)



特別展 里山いま昔

—人と自然 あらたな“絆”を求めて—



アルビノタヌキ(銀次郎)に会いに来てね！



百年公園にはこんな石垣が！



里山の生き物がいっぱい！

里山の自然や文化は、長年にわたる人とのかかわりを通して、維持されてきました。しかし、私たちの暮らし方は大きく変わり、里山との“絆”は疎遠なものになってしまいました。無用な土地と化した里山は次々と開発され、そこをよりどころとしていた身近な生き物が姿を消していきました。さらに、高齢化が進んだ地域では、農地を維持することが難しくなり、深刻な獣害に悩まされ、長年受け継がれた生活の知恵も失われつつあります。

この展覧会では、古いオオカミの頭骨、江戸時代の里山の様子を語る文書、調査の結果から見えてきた里山の生き物の現状などを紹介するとともに、周囲の里山環境を生かした体験活動を計画しています。本展は、直接、深刻な現状の解決に役立つものではありませんが、当館は里山に立地する博物館として、期待される役割を果たすべく、人と自然のあらたな“絆”を探っていきたいと思います。

★講演会＆鹿肉試食会（定員：50名）

@荒ぶる獣たち—21世紀の獣とひととのかかわりー

日時／10月5日（日）13:30～15:00

講師／角田 裕志（岐阜大学応用生物科学部）

協力／岐阜県農政部

★ミニシンポジウム（定員：50名）

@モニタリングサイト1000里地調査とは何か

日時／11月3日（月・祝）10:00～15:00

講師／高川 晋一（公益財団法人 日本自然保護協会）

☆案内人と歩く里山ウォーキング

詳しい日程はホームページをご覧ください。

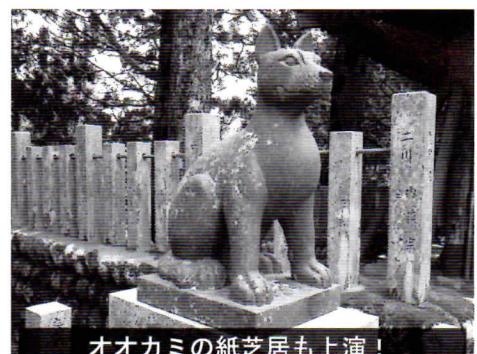
★のイベントは、電話・HPからお申込みください。



落ち葉の葉を手に入れよう！



案内人と森を探検！



オオカミの紙芝居も上演！

入館料／一般600(520)円 大学生300(200)円 *高校生以下無料
()内は20名以上の団体料金

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)～10月31日(金)
9:30～16:30(入館は16:00まで)11月1日(土)～
※ただし9月12日(金)は10:30開館

休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)

交通案内



GIFU PREFECTURAL MUSEUM
岐阜県博物館

〒501-3941 岐阜県関市小屋名 1989(岐阜県百年公園内)
TEL0575-28-3111 / FAX0575-28-3110 / URL http://www.gifu-kenpaku.jp